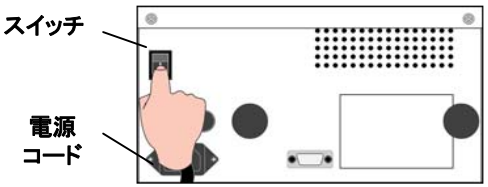
Ad Me Tech　電気焼灼器　AMTC200　使用の手引き

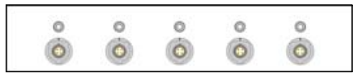
・製品に付属している取扱説明書をよく読んでから、ご使用ください。

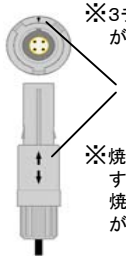
① 電源を入れる

装置背面の電源コードを差し込み
電源スイッチを入れてください。



② 焼灼子を取り付ける





※3チャンネルタイプは差し込み口が3つとなります。

**矢印の位置を合わし
コネクターを差し込む**

※焼灼子は必ず「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
焼灼子取り付け後数秒でLEDが緑に点灯します。

③ 温度設定を行う

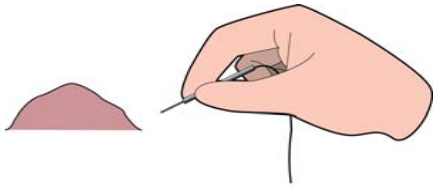
温度設定ボタンを押すと、温度パネルの数字が点滅します。
パネル右の矢印ボタンにて焼灼子のコントロール温度を設定してください。

④ 治療時間を設定する

時間設定ボタンを押すと、時間パネルの数字が点滅します。
パネル右の矢印ボタンにて分単位で治療時間を設定してください。

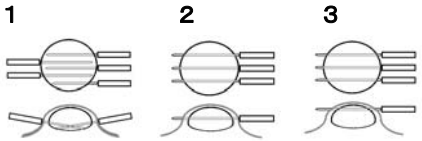
⑤ 患部に焼灼子を刺す

焼灼子は根本の一回り太くなっている部分を持ち患部の付け根より約6㎜間隔で刺してください。



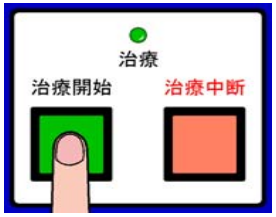
焼灼手順

患部が大きく1度に焼灼が出来ない場合
10分間の治療終了後、以下の様に焼灼子の位置を変え何度か繰り返して下さい。
※格子状に複数回焼灼子を刺すと死角を減らしより確実に温熱が加わります。



⑥ 治療開始ボタンを押す

治療開始ボタンを押すと、治療ランプが点灯し焼灼子のヒーターが起動します。
時間パネルも１秒ずつカウントアップが始まります。



⑦ 焼灼子の温度を確認

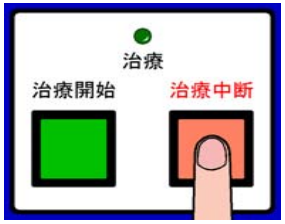
焼灼子の温度は１分以内で表示温度が設定温度付近まで上昇します。
※表示時間が1分を過ぎてもヒーター温度が低い場合は焼灼子を再確認下さい。

⑧ 焼灼の終了

焼灼時間が予め設定された時間に達するとブザーが鳴り自動的に焼灼を終了します。
※残り時間30秒、10秒の際にもブザーが鳴ります。

強制終了

強制的に焼灼を終了するには「治療中断」ボタンを押し。焼灼を終了します。



⑨ 治療終了

治療ランプが消えると患部より焼灼子を１本ずつ抜いていきます。
全ての焼灼子を抜き終わると患部の消毒を行い経過を観察します。

※ 焼灼子は必ず太い部分を持ち絶対コード部を引っ張らないで下さい（故障の原因となります）

※ 治療直後の焼灼子は熱くなっている為火傷に気をつけて 取り外してください。

※ 焼灼子先端は鋭利な為危険です、取扱いには十分な注意を払ってください。

⑩ 焼灼子のお手入れ

使用後の焼灼子はアルコール，
ホルマリン等で汚れを拭き取り
ＥＯＧ滅菌，オートクレーブ等で
滅菌処理を行ってください。

注意

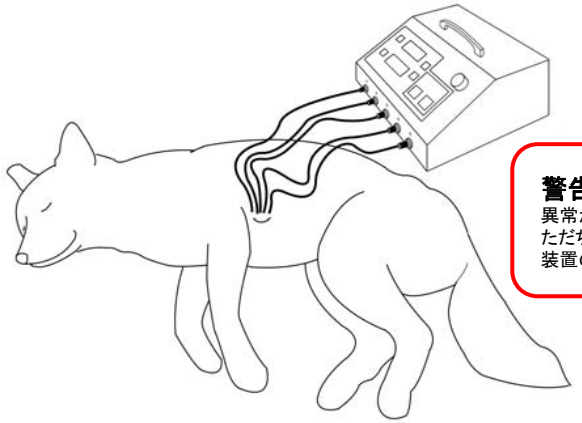
・オートクレーブ使用時は135℃以下10分真空引き乾燥40分を基本として下さい。

・高温による乾燥滅菌は使用できません。熱により焼灼子のコネクター部分が破損する可能性がございます。

Ad Me Tech　電気焼灼器　AMTC200

焼灼中の注意

装置の状態1	「治療」ランプが点灯し時間表示がカウントアップされている事
装置の状態2	「エラー」ランプは消灯している事
焼灼子の状態1	使用しているチャンネルのランプが緑で点灯（点滅）している事
焼灼子の状態2	焼灼子は約7mm間隔で、できる限り平行に刺さっている事
温度設定	一般的な焼灼子コントロール推奨温度は65～75℃



警告
異常が認められた場合、
ただちに治療を中断し
装置の確認を行って下さい

各チャンネル温度確認機能

AMTC200では、治療中は温度パネルに使用している焼灼子全ての平均
コントロール温度が表示されますが、各チャンネルを個別で確認する事も可能です。

治療ランプ点灯時に「温度設定」ボタンを　3秒以上押すと1チャンネル目の温度が表示されます。
その後「温度設定」ボタンを押すたびにチャンネル表示が切り替わり5（3）回目で平均温度に戻ります。

※焼灼子の無いチャンネルは「Er」表示となります。

トラブル対処

トラブル症状	原因	対処方法
電源を入れると「エラー」ランプが点滅しブザーが断続的に鳴る。	緊急停止状態	電源を切り、緊急停止ボタンを右に回して解除した後再度電源投入してください。
「エラー」ランプが0.5秒おきに点滅。	温調器のデーター通信エラー	一度電源を切り、電源の再投入
「エラー」ランプが1秒おきに点滅しブザーが鳴る。 時間パネルに以下の表示が点滅。 	コマンド送信エラー	「治療中止」ボタンを押すとエラーが解除されます。 一度電源を切り、電源の再投入 ※電源再投入後も「治療開始」で同症状が発生する場合は販売元に連絡してください。
焼灼子を取り付けてもchランプが赤点滅、又は消灯している。	焼灼子の異常	焼灼子が断線又は故障しています。 その焼灼子は使用しないでください。 ※焼灼子は消耗品となります
焼灼中に、焼灼子が患部から外れた。	－－－－－－－	焼灼子は患部より抜けてしまっても温度コントロールは継続しております。 焼灼子の先端及び火傷に注意し、再度刺し直して使用可能です。 ※焼灼子を落下した場合は、滅菌処理を行うまで再使用しないで下さい。
焼灼中に、焼灼子のコネクターが装置から外れた。	コネクターの差し込みがあまくロックされていない。	コネクターが抜けた時点でそのチャンネルへの電圧供給が止まりますが、再度きっちりコネクターを差し直すと、約3秒後より再び温度コントロールを開始します。

※詳しくは取扱説明書をご参照ください。

その他の注意事項
・焼灼子の先端部は鋭利な為非常に危険です。
　怪我等に　十分注意してください。
・装置は、安定した台に設置し治療中の移動の
　妨げ、落下の危険が無いにして下さい。
・装置に生理食塩水、治療薬等の液体が
　かからない様細心の注意をはかる様にして下さい。

商品名：電気焼灼器　AMTC200
　　動物用一般医療機器製造販売届出済み
販売元：株式会社アレクソン　環境／医療機器事業部
　　兵庫県伊丹市寺本3丁目207－1
　　TEL：072-777-1584　FAX：072-780-2060
製造元：株式会社アドメテック
　　愛媛県松山市文京町3
　　愛媛大学産業科学技術支援センター　3F
　　TEL：089-922-3115

2012/10/10